

キャラクター名
カーバンクル・ニーベルンゲン

プレイヤー名

シンドローム	バロール ブラム=ストーカー		ワークス	その他A	カヴァー	アニマルヒーロー
	オプション		年齢		性別	
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	35	%
出自	実験動物	経験	元ヴィラン	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	64
肉体	1	1	0	3		5	行動値	9
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: 動物	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
生体特徴: 装甲		3			
ヒーローコスチューム		6			社会の判定ダイス+1個

所持品	
ヒーローズクロス	
パワースource: プライマル	
コネ: 動物の手下	
コネ: 人間への貸し	
コネ: 調達師	
ウェポンケース	
思い出の一品	

合計装甲: 14 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
黄昏の支配者	P	N		
製作者	P 感服	N 憎悪		
神月正義	P 信頼	N 食傷		
霧谷雄吾	P 誠意	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
グラビティテリトリー	3		常時	至近	自身	自動		
効果: 最大HP+Lv*7 基本侵蝕値+4								
孤独の魔眼	3	4	オート	視界		自動		
効果: 対象:単体に変更 1シナリオにLv回まで								
魔神の盾	3	4	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+『Lv*10』する 1シーンに1回まで								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+『Lv』Dする								
カバードィフェンス	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果: カバリング 1シナリオにLv回まで								
不死者の恩寵	3	5	クリンナップ	至近	自身	自動		
効果: HPを(Lv+2)D+肉体点回復する								
無限の血肉	1	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果: 戦闘不能を回復し、HPをLvD点まで回復する。1シナリオに1回まで								
従者の行進	2	5	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: 赤色の従者を使用する。1シナリオにLv回まで								
赤色の従者	5	5	メジャー	至近	自身	自動		
効果: 従者作成。HP『Lv*5+10』 PCの判定ダイス-3個								
ウィズダムアップ	1		常時					
効果:								
アイテムユーザー	1							
効果:								
裸の王様	1							
効果:								
効果:								

PC4
シナリオロイス:霧谷雄吾
推奨感情:P誠意/N劣等感
カヴァー/ワークス:ヒーロー/指定なし
R対策室室長の霧谷雄吾から依頼が舞い込んだ。それはかつて倒されたヴィランの欠片を追ってほしいというものだった。かつて東京で猛威を振るった凶悪なヴィラン。ヒーロー組織が保管していたその破片を盗み出しているヴィランがいるという。危険な欠片がヴィランに利用される前に、阻止せねば。

オーヴァードを生み出す研究によって生まれたアニマルオーヴァード。行く行くはヴィランとして教育されていたが反発。その後ヒーローに研究所は壊滅し、処分されそうになったところを心優しいものたちによって保護される。信頼してくれた人たちに報いるため、ヒーローとして活動している。生み出した従者と自慢の甲羅で周りを守るタンクポジション。実験体の頃の名前を捨て、新たに名付けられた今の名前を大切にしている。「私はカーバンクル・ニーベルンゲン。略してカこと呼ばれている」